



表郷中学校だより

令和3年11月 4日(木)

ポ フ ラ

第50号 発行者・文責 校長 菊池 篤志

1 日自由参観、実施！

今週は「ふくしま教育週間」ということで、保護者の皆様に御参加いただく行事を企画することになっており、11月2日(火)、自由に授業参観をしていただく日に指定させていただきました。お忙しい中御来校いただき、授業や球技大会を御覧いただきましたこと、心から感謝申し上げます。

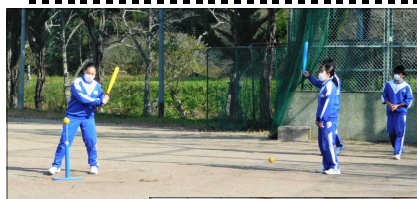
なお、12月2日にも授業参観を予定しておりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

校内球技大会、実施！

11月2日(火)、校内球技大会を実施しました。前号でお知らせしましたように、体育館でバレーボール、校庭ではティーボールを実施しました。全ての学年の総当たりで試合をして順位を決めました。学級の代表としてプレーした生徒の皆さんは、自分たちのため、そして学級のために力を尽くして頑張りました。特に、3年生は最後の球技大会でしたので、お互いを励まし合いながらチームワーク良く戦いました。勝敗に関係なく、みんながお互いを尊重したり楽しんだりすることができ、表情が輝いていたことが大変良かったと感じました。

保護者の皆様の応援、誠にありがとうございました。

【ティーボール】	1位	2年1組	2位	1年2組	3位	3年2組
【バレーボール】	1位	2年2組	2位	2年1組	3位	1年1組



バレーボールの3年生全員の円陣

第50号

この号で第50号となります。今後、100号までは届かないと思いますが、週2回のペースで子どもたちや学校の様子を伝えて参りますので、今後とも、御愛読よろしくお願いいたします。

新聞に、生徒作文掲載！

11月1日(月)の福島民報新聞の「みんなのひろば」に、本校の2名の生徒の作文が掲載されました。新聞記事などのニュースに関心をもち、常に社会全体のことを考えていることが何よりも素晴らしいことです。

下は、2名の作文です。すでに新聞でお読みになった方もいらっしゃると思いますが、改めて掲載しますので、御覧ください。

阿蘇山噴火から防災意識を学ぶ

深谷柚羽（2年）

10月20日に、熊本県の阿蘇山で噴火が発生したことについて福島民報の記事を読んだ。

10月24日現在、噴火警戒レベル3の入山規制がかかっている。噴火当時、火砕流は西に1.3km流れ込み、噴煙は約3500mまで上がった。ニュースで噴火の瞬間を見たが、黒い煙が空高く広がり、そんな中、車で避難している様子も放映された。

自然災害は恐ろしいと、改めて思った。もし自分がその場にいたら、冷静に行動できるかどうか分からない。今回の噴火では、登山者が16人いたが、全員無事下山しけが人はなかった。死傷者が出なかったことが一番だと思う。

今回のことで、福島県にも磐梯山をはじめ火山があることを思い出した。2年前の台風19号で甚大な被害があったことも記憶に新しい。火山噴火だけでなく、地震や台風などの自然災害では、落ち着いてできるだけ安全な場所を探し、自分の命を守るようにしたい。そのために、普段から防災について学び、家庭で防災グッズを備えておきたい。

18歳になったら政策を聞いて投票

緑川栞楠（2年）

白河青年会議所が地元の小学校で未来の有権者教育プログラム「みらいく」を開催し、政治に関心を持つ大切さを子どもたちに伝えているという記事を福島民報で読みました。小学生に模擬選挙を体験させる取り組みが紹介されていました。

この記事を読む前は、選挙は大人がするもので、難しいというイメージを持っていました。長い歴史から見ても、選挙は初めは男性だけのものでした。その後、女性も選挙権を持つようになり、現在は18歳以上の全国民に選挙権が与えられています。

自分が18歳になった時に、候補者が訴える政策をよく聞き、自分で判断して投票ができるようになりたいと改めて思いました。

若者の政治への関心が薄いと言われている今、「みらいく」のような取り組みは素晴らしいと思います。6年前に全国的に始まった未来の有権者教育プログラムの活動ですが、現在では白河青年会議所が全国で唯一継続していることを知り、白河市民としてうれしく思いました。自分の住んでいる地域で、このように社会に貢献する活動が行われていることを誇りに感じます。